改訂：2011 年 1 月 30 日（第 10 版）
改訂：2010 年 7 月 30 日（第 9 版）

認証番号：218AIBZX00037000

類　　別：機械器具 12　理学診療用器具
一般的名称：低周波治療器（JMDN コード：35372000）
分　　類：管理医療機器　特定保守管理医療機器

グラナス

【警告】

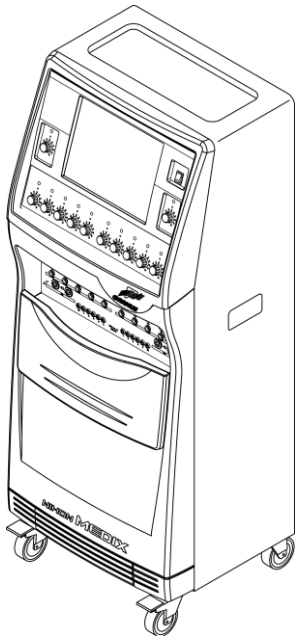
1．次の医療用電子機器との併用は、機器に誤動作をまねく恐れがあるので使用しないこと。
（1）超短波治療器、マイクロ波治療器、電気メスなどの強力な電磁波を放出する装置、又はX線を放出する装置との近接した操作（例えば、1ｍ程の距離）や直接照射は、機器の出力を不安定にする。
（2）心電計などの装着型医用電子機器の使用時。
（3）電気メス（電気手術器）との同時接続は、機器の電極位置で人体に火傷を起こし、機器に損傷を与える。
2．以下の場合は医師の判断に従うこと。
（1）高血圧症、高熱疾患、感染症の疑いのある患者、骨粗鬆症の患者、高齢者、小柄で細い虚弱患者、運動を制御できない患者、精神疾患、その他体に異常を感じている人。
（2）留置型の横隔膜神経刺激装置や膀胱刺激装置の装着患者。
（3）重度の局所循環障害を持つ患者の当該患部への適用は、専門医の医学的知見を必要とする。
（4）悪性腫瘍が診断された患者で、疼痛緩和を目的とする場合。それ以外は禁止。
（5）病名などがはっきりしない場合。
3．胸部近辺での電極の装着は、心室細動の危険を増大させる。
4．頚椎周辺部は、安静状態で十分注意して治療すること。
5．使い捨てカイロや、治療部位および部位近くの金属類（ネックレス、ベルト、時計、メガネ、イヤリングなど）は、体から外す。
6．磁気の影響を受ける場所では使用しない。

【禁忌・禁止】

1．本機は低周波治療器である。他の目的に使用しないこと。
2．次のような人には使用しないこと。
（1）植込み形電子装置（例えば、ペースメーカ）を装着した患者。
（2）糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害者。
（3）温度感知喪失者。
（4）酒気を帯びた人。
3．次の人は介護者なしで使用しないこと。
（1）麻痺のある人。
（2）12 歳以下の子供。
（3）意思表示ができない人。
4．使用してはならない部位、領域、状態
（1）目。
（2）頸動脈洞領域。
（3）静脈や動脈の血栓症または血栓性静脈炎の領域の近く。
（4）皮膚が過敏、損傷、病変がある領域。
（5）心臓病の病歴がある患者の胸部。
（6）循環血液量増大によって悪化しうる状態。
（7）脳血管障害やてんかん発作の病歴をもつ患者の頭蓋顔面領域や頸部。
（8）妊婦の腹部、腰仙部、骨盤領域。
（9）感覚が損なわれている領域。
(10)出血や血腫が起こりやすい組織または月経時の腹部。
(11)急性損傷や急性炎症のある部位。

【形状・構造及び原理等】

1．機器構成
（1）本体
（2）付属品：SSP 吸着ホースコード（2m）、SSP コードストッパ、SSP 導子掛け(W)（L、R）、SSP 吸引キャップ、NT ホットスパイク導子（2m）、導電スポンジ、ベルト（A、C）、電源コード、ヒューズ（4 A、2 A、1 A、50 m A）
（3）オプション：SSP 吸着ホースコード（3m、4m）、SSP 電極（φ13、φ10、φ7）、SSP 電極シール（大、丸小）、2 本分極コード（2m、3m、4m）、WE-3 導子、WE-3 導子用スポンジ、WE-3 導子用コード（2m、3m、4m）、ピンジャック導子コード（2m、3m、4m）、NT ホットスパイク導子（3m、4m）、小型 NT ホットスパイク導子（2m、3m、4m）、導電スポンジ(小型タイプ用）、マグネット導子掛け(W) A、テクノゲル電極（大、小、丸）
2．形状（本体）



（1）寸法：幅 500 mm × 高さ 1260 mm × 奥行き 400 mm
（2）質量：51.0 kg
（3）使用環境：周囲温度 10～40 ℃　相対湿度 30～75 %
気圧 700～1060 hPa
3．電気的定格
（1）定格電源：AC100 V
（2）電源周波数：50/60 Hz
（3）消費電力：220 VA
（4）電撃保護：クラスⅠ機器　　ＢＦ形装着部を持つ機器
4．原理
経皮的に鎮痛や筋萎縮改善に用いる神経及び筋刺激装置。外部刺激装置及び電極から構成される。電極は皮膚に置き、身体に挿入しないため、電気刺激が皮膚を経て（経皮的に）痛みのある部位又は筋障害部位に供給される。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【使用目的、効能又は効果】

経皮的に鎮痛及び筋萎縮改善に用いられる神経及び筋刺激を行うこと。

【品目仕様等】

1．出力電流　CH1～5：40mA 以下
　　HS　　：48mA 以下
2．出力電圧　CH1～5：210Vp-p（500Ω負荷）
　　HS　　：180Vp-p（500Ω負荷）
3．出力周波数：1～999Hz
（治療周波数）
4．治療タイマ：1～99 分，連続

【操作方法又は使用方法等】

操作方法の明細は、取扱説明書の『使用方法』を参照してください。

1．使用前
（1）本体、電源コード等に異常がないことを確認する。
（2）電源は AC100 V（3P）コンセントを使用する。
（3）電源の周波数、電圧、許容電流および消費電流に注意する。
（4）排水タンクが本体下部に取り付けてあるかを確認する。
（5）導子掛けを取り付ける。
（6）電源コードを接続する。
（7）導子を接続する。
（8）使用する導子に合わせて出力切替えをする。
（9）使用する前に出力電圧、出力電流または吸引力に異常がないか、各出力部の接続や導子電極の接続状態、断線等を点検すること。異常があった場合には使用を中止し、修理を依頼するか又は保守点検を実施すること。

2．使用中
（1）電源スイッチを入れる。
（2）治療モード（1/f 低、1/f 中、1/f 高、トリミックス 1、トリミックス 2、ミックス、連続治療、および各モードでの V:1/f）を設定する。
（3）治療時間（1～99 分の 1 分単位、連続）を設定する。
（4）デュアル通電機能（FGF/BGF）を設定する。
（5）吸引圧、HS 温度、HS 予熱を設定する。
（6）患部に導子を装着する。
（7）出力調整ボリュームを右に回して治療を開始する。（治療中は、治療時間表示が残時間を表示する。）
（8）残時間が「0」になるか、または停止スイッチを押すと、治療が終了し終了音が鳴る。

3．使用後
（1）治療が終了したら、患部から導子を外し、電源スイッチを切る。ただし、温熱導子を使用した場合は電源スイッチを切る前に温熱レベルを「OFF」にする。
（2）本体及び導子等は、次回の使用に差し支えないようにする。

【使用上の注意】

使用上の注意の明細は、取扱説明書の『安全・使用上の注意』を参照してください。

禁忌・禁止

次のような場所では使用しない。
（1）水のかかる恐れのある場所。
（2）温度、湿度、直射日光、ほこり、塩分、硫黄分等を多く含んだ空気等による悪影響のある場所。
（3）傾斜、振動、衝撃のある不安定な場所。
（4）化学薬品の影響や、ガス発生の恐れのある場所。
（5）電磁波の発生するマイクロ波治療器などからの直接照射を受けたり、磁気の影響を受けたりする場所。
（6）火気のそば。

重要な基本的注意

（1）本装置は医家向け機器であり、医療関係者以外は触れないように注意すること。特に、患者が勝手に機器のスイッチ、ツマミ等に触れないように注意する。
（2）修理技術者以外による、修理は絶対にしない。また、改造に類似する行為や依頼をしてはならない。
（3）装置内部を絶対に開けない。
（4）故障のときは電源を切り、「故障・使用不可」等の適切な表示を行い、修理が完了するまで機器に触れないこと。
（5）必ず導子を装着する前に、電源スイッチを入れること。また、導子を装着したまま電源を切らないこと。

相互作用

併用の注意
（1）他の機器との併用は機器が誤動作する可能性があり、人への傷害や機器の故障の原因になるので十分注意する。

その他の注意

（1）取扱説明書記載以外の使用や操作は絶対にしない。
（2）機器専用の付属品、オプション品以外の使用をしてはならない。
（3）機器の動作状態に注意する。（タッチパネル、電圧・電流レベルメーター、治療時間、終了音、停止スイッチ等）
（4）患者の異常（疼痛やしびれ、その他の症状の増悪、気分不快等）に注意する。
（5）患者や機器に異常があった場合、患者にとって安全な状態で、直ちに機器の動作を停止させ、適切な処置を行う。（出力調整ボリュームを「切」の位置まで戻す。）
（6）患者が勝手に治療部位に導子を装着しないように注意する。
（7）電源コードおよび導子コードを踏んだり引っ張ったりしないこと。
（8）電極やプラグ等を取り付ける際は、必ず根元まで差し込むこと。中途半端な差し込みは誤動作の原因となる。
（9）導子を装着する皮膚部分の汚れ、皮脂などを消毒用エタノールや酒精綿、ウェットティッシュなどで軽く拭き取り、通電を良くするために皮膚に湿り気を与える。
(10)導子を装着時、かゆみ、かぶれなどの症状が現れた場合は使用を中止すること。また、傷やかぶれのあるところや、かぶれ易い患者には使用しない。
(11)導子の装着が不十分、または不均一な場合は、通電時に電流が異常集中し、表面での痛み、発赤（軽度の火傷）を伴う原因となる。
(12)出力調整時や治療中は、導子の位置および吸引圧の変更はしないこと。また、導子コードの抜き差しをしないこと。
(13)刺激の感じ方は、個人および治療部位、導子、治療モード、治療周波数、吸引圧等により差があるので、出力は「切」から徐々に上げて調整すること。出力の上げ過ぎや操作ミスは、過大通電、表皮での痛み、発赤（軽度の火傷）を伴う原因となる。
(14)治療中に導子が外れた場合や導子の再装着時は、出力を半分くらいに下げてから導子を装着して、出力の上げ過ぎに注意しながら再度出力を調整する。（また、吸引導子を使用している場合は、吸引圧を変更しないこと。）

取扱説明書を必ずご参照下さい。

(15)V:1/f の治療モードは出力値に上下の変動があり、出力を強く感じることがあるので、弱めに設定する。
(16)吸引機能を使用する際は、吸引圧が強すぎると装着部が鬱血したり、水疱が発生することがあるので注意すること。治療開始前に適切な吸引圧に調節する。治療時間が長い場合も装着部が鬱血等することがあるので注意する。
(17)吸引圧は、通常レベル５前後になるように設定する。
(18)スポンジに水分補給する時は、本体に水をかけないこと。また、スポンジから垂れる水を本体にかけないこと。
(19)導子のスポンジへの水分補給には、霧吹き等を使って、適度な湿り気を与えること。導子ごと湯や水に浸さないこと。
(20)温熱導子の使用に際しては、温熱感覚が個人および治療部位により差があるので、低い温度レベルから設定し、患者の状態に合わせて調節する。治療時間が長い場合には低温火傷に注意する。
(21)テクノゲル電極を装着時、かゆみ、かぶれなどの症状が現れた場合は使用を中止すること。また、傷やかぶれのあるところや、かぶれ易い患者には使用しない。
(22)テクノゲル電極は粘着力の低下、粘着面の乾燥等による劣化や破損した状態で使用しない。テクノゲル電極の装着が不十分、または不均一な場合は、通電時に電流が異常集中し、表面での痛み、発赤（軽度の火傷）を伴う原因となる。
(23)弊社の修理技術者または医療機器修理業者、臨床工学技士以外が本体を修理または再調整をして発生した事故および故障に関しては、その責任は一切負いません。
(24)機器が故障した場合には機器を購入した販売店および弊社営業所の修理技術者または弊社（製造販売業者）に修理を依頼する。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

保管方法

（1）本体、導子等の使用後は、清浄にして保管する。テクノゲル電極は、使用後フィルムを貼り袋に入れて保管する。
（2）清掃、手入れの際には、操作部には絶対に水をかけない。また、ベンジンやシンナー、磨き粉、たわし等は使用しない。
（3）湿度の多い場所で保管しない。
（4）輸送時の保管環境は周囲温度－20～60℃，相対湿度 10～95％とする。
（5）導子等は、消耗品的要素があるので、破損状態等を見極め、定期的に交換すること。

耐用期間

（1）耐用期間は、８箇年とする。

【保守・点検に係る事項】

1．一定期間（満一年）使用した本体等は、一年毎に医療機関で保守点検を実施すること。保守点検が実施できない場合は取扱店または弊社に依頼する。
2．保守点検を実施する場合は、機器に添付された「保守点検マニュアル」に従って行う。
3．日常的な点検及び定期点検については取扱説明書を参照し点検を行う。

【包装】

紙製段ボールによる包装
1台（又は1セット）単位

【製造販売業者及び販売業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元：株式会社日本メディックス（柏工場）
住　　所：千葉県柏市若白毛 1157
電 話 番 号：04-7193-3911

販　売　元：株式会社日本メディックス（本　社）
住　　所：千葉県松戸市南花島向町 315-1

RD-18-GRE2-10

取扱説明書を必ずご参照下さい。